

道政と道議会はどうなっているか？

みなさん、こんにちは。私は、日本共産党後援会の 　　　　　　です。きょうは、この場をお借りして、今の道政や道議会のどうなっているか、また、道議会で各党や議員が何をやってきたのかについてお話をさせていただきます。少しの間、ご清聴よろしくお願いたします。

さて、先日から通常国会が始まりました。安倍首相の口から出たのは、「美しい国づくり」の連発であり、財界向けの減税の拡大、消費税の値上げ、憲法改正……でした。

政府の施策によって雇用が破壊され、福祉や医療が切りすてられ、地方が破壊される中で悲鳴を上げている庶民の願いに答える政策は示されませんでした。「格差の是正」なども全く頭の中になく、このままでは、内閣支持率が急速に落ち込むのも当然です。

国民の願いにまともに向き合おうとしない安倍政権に、今度の選挙で『ノー』の声を突きつけようではありませんか。

そうした中で、道政と道議会はどうなっているのでしょうか。

北海道は、くらしと地域の崩壊が全国で最も進んだところとなっています。

道内の完全失業者数は十五万人、生活保護を受けている人は十三万人と、全国の中でも最上位です。勤労者世帯の実収入も、月額平均で全国平均を九万円も下回っています。高校生や大学生の就職率も依然として低いまです。

こんなときだからこそ、道政と道議会の国の悪政から住民を守る「防波堤」の役割を果たすのか、それとも、国と一緒に住民をいじめる側に回るのかが鋭く問われています。

しかし、いまの道政は、くらしの問題でも、平和の問題でも、「北海道に対して愛がないのではないか」と思うほど、国いいなりです。

知事は、道民の運動で実現させた難病医療や障害者医療の助成を打ち切り、一万七千人の患者を制度の対象から外しました。

また、地方から高校をなくしてもいいかのように、小規模校の統廃合を進め、市町村合併でも、一度断念した自治体にも再度「合併」を押しつけています。平和の問題でも、憲法九条の改正や自衛隊のイラクへの派兵に反対せず、容認する姿勢です。

知事は、道民サービス切りすての理由を「財政が厳しいからだ」と弁解しますが、本当にそうでしょうか。

なぜなら、ムダと環境破壊が心配される平取ダムやサンルダムなどの大型開発に数百億円、大もつけしているトヨタに十九億円、日立セミコンに二十七億円など、大企業には百四十億円もの補助をつぎ込んでいるからです。ないのは、お金ではなくて、道民に対する思いやりの心ではないでしょうか。

知事の行き過ぎをチェックし、住民の声を道政に真っすぐ届けるのが議員の役目です。ところが、自民党や公明党は、道民いじめの知事の提案にすべて賛成するばかりか、「もっとやれ」とハッパをかける始末です。道警の裏金問題では、百条委員会の設置に連続七回も反対し、道民の求めた真相解明にフタをしてしまいました。

民主党はどうでしょうか。ムダな大型公共事業には反対せず、豪華旅行と批判の強い海外視察には自民党以上に熱心です。最近では、共産党が提案した「庶民増税の凍結・見直し」に反対するなど、道民の願いに背を向ける態度です。

この四年間で四人の道議が、汚職や選挙違反、暴力事件で辞職に追い込まれましたが、自民、民主が二人ずつと、この点でも「二大政党」そろい踏みです。

四人の日本共産党議員団は、増税にブレーキをかけること、ムダづかいや不正を許さないことなど、議員が最も試されるところでスジを通し、道民の立場で頑張ってきました。

議員一人当たりの質問回数は、他党の三から七倍と断然トップです。内容も、少人数学級の実現や、乳幼児医療費助成の就学前までの拡大など、大きな成果を上げています。

道警の裏金問題では、次々と事実を突きつけ、約十億円の税金を返還させ、マスコミからも「共産党以外は、どの党も疑惑解明に消極的だった」と評価されました。

みなさん、このように、四名の道議団ですが、道民の声を背に受け、住民運動とも連携して、道政を動かす存在となっています。六名になれば、予算委員会に二人の委員を送り、二つの分科会で道政をチェックできます。九名になれば、すべての常任委員会に参加できますし、単独で議会改革などの提案ができる議案提案権が持てます。

どうか、みなさんの力強いご支援で、一人でも多くの共産党道議を議会に押し上げてください。そのことを最後に訴えて、この場での訴えとさせていただきます。ありがとうございました。